



2024年11月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス

代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久

(コード：2884、東証プライム)

問合せ先 取 締 役CFO 安東 俊

(TEL. 03-6206-1271)

(訂正)「2025年2月期 第2四半期決算説明資料」の一部訂正について

2024年10月15日に発表いたしました適時開示資料「2025年2月期 第2四半期決算説明資料」につきまして、一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。なお、開示済みの決算短信等の数値に訂正はありません。

記

1. 訂正理由

2024年10月15日に発表した「2025年2月期 第2四半期決算説明資料」のうち、以下の記載内容に誤りがありましたので、訂正を行うものです。

「連結損益計算書」(5ページ)

2. 訂正内容

訂正箇所は赤枠で示しております。

(訂正前)

連結損益計算書



売上高は前年同期比+24.5%、営業利益は+121.9%と大幅な増収増益を達成

(単位: 百万円)	2024年2月期 2Q		2025年2月期 2Q		前年 同期比	2025年2月期 業績見込	
	構成比		構成比			(通期)	進捗率
売上高	23,084	100.0%	28,783	100.0%	+ 24.5%	58,215	49.4%
営業利益	902	3.9%	2,003	7.0%	+ 121.9%	2,744	73.0%
経常利益	1,371	5.9%	2,010	7.0%	+ 46.6%	2,671	75.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	832	3.6%	834	2.9%	+ 0.2%	1,113	74.9%
EBITDA	1,734	7.5%	3,165	11.0%	+ 82.5%	4,889	64.7%

- 売上高は、ワイエスフーズグループ（株式会社ワイエスフーズ、株式会社マタツ水産、有限会社オガネサン 清藤水産、株式会社ワイエス海商）の取り込みにより増収。既存企業のオーガニックな成長も貢献。
- 営業利益が前年同期比で大幅に増加した理由は、利益率の高いホタテ事業の比率が増加したため
- 経常利益及び当期純利益は、為替差損50百万円（前年同期は為替差益240百万円）を計上したこと等が影響
- 当期業績見通しに対し上半期は堅調に推移、**業績見通しの修正は下半期の状況を見ながら判断**

(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費（減価償却、のれん）+ コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用 © Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved | 証券コード: 2684 | 5

(訂正後)

連結損益計算書



売上高は前年同期比+24.5%、営業利益は+121.9%と大幅な増収増益を達成

(単位: 百万円)	2024年2月期 2Q		2025年2月期 2Q		前年 同期比	2025年2月期 業績見込	
	構成比		構成比			(通期)	進捗率
売上高	23,084	100.0%	28,738	100.0%	+ 24.5%	58,215	49.4%
営業利益	902	3.9%	2,003	7.0%	+ 121.9%	2,744	73.0%
経常利益	1,371	5.9%	2,010	7.0%	+ 46.6%	2,671	75.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	832	3.6%	834	2.9%	+ 0.2%	1,113	74.9%
EBITDA	1,734	7.5%	3,165	11.0%	+ 82.5%	4,889	64.7%

- 売上高は、ワイエスフーズグループ（株式会社ワイエスフーズ、株式会社マタツ水産、有限会社オガネサン 清藤水産、株式会社ワイエス海商）の取り込みにより増収。既存企業のオーガニックな成長も貢献。
- 営業利益が前年同期比で大幅に増加した理由は、利益率の高いホタテ事業の比率が増加したため
- 経常利益及び当期純利益は、為替差損50百万円（前年同期は為替差益240百万円）を計上したこと等が影響
- 当期業績見通しに対し上半期は堅調に推移、**業績見通しの修正は下半期の状況を見ながら判断**

(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費（減価償却、のれん）+ コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用 © Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved | 証券コード: 2684 | 5

以上